

供給区域 北海道

2023 年度

	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象閏補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(%) (参考)
年度	2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	3,929	—	4,100	4,160	4,170	4,170	4,170	4,170	4,170	4,170	4,170	4,170	4,170	0.2
最大需要電力(送電端)冬季 MW	4,990	—	4,990	4,980	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	0.0
年負荷率 夏季 %	87.7	—	83.8	83.4	83.4	83.3	83.3	83.3	83.3	83.3	83.2	83.4	83.3	—
年負荷率 冬季 %	69.1	—	68.9	69.7	69.7	69.6	69.6	69.6	69.6	69.6	69.5	69.7	69.6	—
需要電力量合計(送電端) GWh	30,200	—	30,104	30,473	30,456	30,443	30,434	30,509	30,413	30,411	30,377	30,538	30,425	0.1
送配電損失率 %	5.7	—	5.6	5.7	5.7	5.7	5.7	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	—
需要電力量合計(需要端) GWh	28,492	—	28,431	28,741	28,729	28,719	28,713	28,786	28,696	28,696	28,666	28,824	28,718	0.1
変電所内内用電力量 GWh	61	—	61	59	59	59	59	60	59	59	59	60	59	-0.3
需要電力量合計(使用端) GWh	28,431	—	28,370	28,682	28,670	28,660	28,654	28,726	28,637	28,637	28,607	28,764	28,659	0.1
家庭用その他 GWh	12,674	—	12,661	12,817	12,728	12,661	12,606	12,595	12,507	12,463	12,407	12,396	12,308	-0.3
業務用 GWh	7,859	—	7,811	8,038	8,068	8,118	8,161	8,216	8,231	8,271	8,295	8,342	8,345	0.7
産業用その他 GWh	7,898	—	7,898	7,827	7,874	7,881	7,887	7,915	7,899	7,903	7,905	8,026	8,006	0.1
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,102	—	3,099	3,138	3,115	3,101	3,089	3,086	3,067	3,057	3,047	3,046	3,030	-0.2
口数(家庭用その他) 千口	4,086	—	4,086	4,085	4,086	4,083	4,081	4,081	4,078	4,077	4,072	4,069	4,062	-0.1
人口/口数 人/口	1.26	—	1.26	1.25	1.24	1.23	1.22	1.21	1.20	1.18	1.17	1.16	1.15	—
夏季需要 MW		—				—	—	—	—	—	—	—	—	
ベース需要 MW		—				—	—	—	—	—	—	—	—	
冬季需要 MW		—				—	—	—	—	—	—	—	—	
ベース需要 MW		—				—	—	—	—	—	—	—	—	
備考														

## S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名) 北海道電力ネットワーク株式会社

供給区域 北海道

2023 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	3,970	3,550	3,560	4,090	4,160	3,870	3,900	4,440	4,810	4,980	4,950	4,530
	需要電力量合計(送電端)	GWh	2,365	2,189	2,088	2,292	2,370	2,163	2,310	2,555	3,100	3,200	2,969	2,872
	需要電力量合計(使用端)	GWh	2,440	2,207	1,947	2,135	2,179	2,085	2,106	2,281	2,660	3,155	2,784	2,703
	家庭用その他	GWh	1,198	1,006	764	820	856	844	834	976	1,181	1,670	1,361	1,307
	業務用	GWh	624	590	578	634	670	593	614	667	779	804	748	737
	産業用その他	GWh	618	611	605	681	653	648	658	638	700	681	675	659

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	3,980	3,560	3,570	4,100	4,170	3,880	3,910	4,450	4,820	4,990	4,960	4,540

供給区域 北海道

2023 年度		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	・8月送電端電力量からH3日量を算出し、日負荷率を乗じて想定 ・日負荷率等は、至近年平均値を使用	気温補正後	(送電端電力量の月配分比率) 2017~2021[2018・2020は除外]  (H3日平均電力量比率・H3日負荷率) 2017 ~ 2021			至近5年平均	<観測期間における2018・2020年度除外可否について> ・年間送電端電力量に対する1・8月送電端電力量比率については、2018年度の北海道胆振東部地震および2020年度上期の緊急事態宣言(外出自粛要請や産業用のサプライチェーン寸断の影響)により、月別比率に歪みが生じていると判断し、これを除外。 ・H3日平均電力量比率やH3日負荷率については、2018・2020年度とそれ以外で大きな差異が見られなかった(通常の変動の範囲内)ため、除外は行わない。	
		夏季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	・1月送電端電力量からH3日量を算出し、日負荷率を乗じて想定 ・日負荷率等は、過去年平均値を使用	気温補正後	(送電端電力量の月配分比率) 2017~2021[2018・2020は除外]  (H3日平均電力量比率・H3日負荷率) 2017 ~ 2021				至近5年平均	<観測期間における2018・2020年度除外可否について> ・年間送電端電力量に対する1・8月送電端電力量比率については、2018年度の北海道胆振東部地震および2020年度上期の緊急事態宣言(外出自粛要請や産業用のサプライチェーン寸断の影響)により、月別比率に歪みが生じていると判断し、これを除外。 ・H3日平均電力量比率やH3日負荷率については、2018・2020年度とそれ以外で大きな差異が見られなかった(通常の変動の範囲内)ため、除外は行わない。
		冬季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×口数原単位により想定		~					
		家庭用その他(口数)	北海道人口を一口当たり人口で除して想定		~		人口			
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向により想定		2013 ~ 2022	0.997		$Y=-0.010X+1.363$	Y:一口あたり人口 X:時系列	乖離差補正(2022)
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向により想定	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.912		$Y=-166.382\log(X)+3528.210$	Y:口数原単位 X:時系列	
業務用		GDP見通しにGDP原単位見通し(時系列傾向により想定)を乗じて想定	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.818	GDP	$Y=-0.555\log(X)+15.862$	Y:GDP原単位 X:時系列		
産業用その他		IIP相関により想定し、停止中所内電力量相当を加算	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.827	IIP	$Y=22.477X+5433.484$	Y:電力量 X:IIP	別途想定した停止中所内電力量を加算	

			想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	・8月送電端電力量からH3日量を算出し、日負荷率を乗じて想定 ・日負荷率等は、至近年平均値を使用	気温補正後	(送電端電力量の月配分比率) 2017～2021[2018・2020は除外]  (H3日平均電力量比率・H3日負荷率) 2017～2021			至近5年平均		<観測期間における2018・2020年度除外可否について> ・年間送電端電力量に対する1・8月送電端電力量比率については、2018年度の北海道胆振東部地震および2020年度上期の緊急事態宣言(外出自粛要請や産業用のサプライチェーン寸断の影響)により、月別比率に歪みが生じていると判断し、これを除外。 ・H3日平均電力量比率やH3日負荷率については、2018・2020年度とそれ以外で大きな差異が見られなかった(通常の変動の範囲内)ため、除外は行わない。	
		夏季需要			～						
		ベース需要			～						
		その他			～						
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	・1月送電端電力量からH3日量を算出し、日負荷率を乗じて想定 ・日負荷率等は、過去年平均値を使用	気温補正後	(送電端電力量の月配分比率) 2017～2021[2018・2020は除外]  (H3日平均電力量比率・H3日負荷率) 2017～2021			至近5年平均		<観測期間における2018・2020年度除外可否について> ・年間送電端電力量に対する1・8月送電端電力量比率については、2018年度の北海道胆振東部地震および2020年度上期の緊急事態宣言(外出自粛要請や産業用のサプライチェーン寸断の影響)により、月別比率に歪みが生じていると判断し、これを除外。 ・H3日平均電力量比率やH3日負荷率については、2018・2020年度とそれ以外で大きな差異が見られなかった(通常の変動の範囲内)ため、除外は行わない。	
		冬季需要			～						
		ベース需要			～						
		その他			～						
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×口数原単位により想定		～						
		家庭用その他(口数)	北海道人口を一口当たり人口で除して想定		～			人口			
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向により想定		2013～2022	0.997		$Y=-0.010X+1.363$	Y:一口あたり人口 X:時系列	乖離差補正(2022)	
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向により想定	気温補正後	2013～2022	0.912		$Y=-166.382\log(X)+3528.210$	Y:口数原単位 X:時系列		
業務用		GDP見通しにGDP原単位見通し(時系列傾向により想定)を乗じて想定	気温補正後	2013～2022	0.818	GDP	$Y=-0.555\log(X)+15.862$	Y:GDP原単位 X:時系列			
産業用その他		IIP相関により想定し、停止中所内電力量相当を加算	気温補正後	2013～2022	0.827	IIP	$Y=22.477X+5433.484$	Y:電力量 X:IIP	別途想定した停止中所内電力量を加算 別途想定した北海道新幹線札幌延伸影響を加算(2031年以降)		

		想定方法							備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	年間送電端電力量から8月送電端電力量、H3日量を算出し、日負荷率を乗じて想定								
	最大需要電力(送電端)冬季	年間送電端電力量から1月送電端電力量、H3日量を算出し、日負荷率を乗じて想定								
	負荷率	送電端電力量の月配分比率:至近5年(2017~2021年度[2018・2020は除外])の平均を使用 H3日平均電力量比率:至近5年(2017~2021年度)の平均を使用 H3日負荷率:至近5年(2017~2021年度)の平均を使用								
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×口数原単位により想定		~					<p>&lt;観測期間における2018・2020年度除外可否について&gt;</p> <p>・年間送電端電力量に対する1・8月送電端電力量比率については、2018年度の北海道胆振東部地震および2020年度上期の緊急事態宣言(外出自粛要請や産業用のサプライチェーン寸断の影響)により、月別比率に歪みが生じていると判断し、これを除外。</p> <p>・H3日平均電力量比率やH3日負荷率については、2018・2020年度とそれ以外で大きな差異が見られなかった(通常の変動の範囲内)ため、除外は行わない。</p>
		家庭用その他(口数)	北海道人口を一口当たり人口で除して想定		~			人口		
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向により想定		2013 ~ 2022	0.997		$Y=-0.010X+1.363$	Y:一口あたり人口 X:時系列	
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向により想定		気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.912		$Y=-166.382\log(X)+3528.210$	
業務用		GDP見通しにGDP原単位見通し(時系列傾向により想定)を乗じて想定		気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.818	GDP	$Y=-0.555\log(X)+15.862$	Y:GDP原単位 X:時系列	
産業用その他	IIP相関により想定し、停止中所内電力量相当を加算		気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.827	IIP	$Y=22.477X+5433.484$	Y:電力量 X:IIP		
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上期は、夏季最大電力(8月)に、各月の対8月比率(2017~2022年度[2018・2020除く]の気象補正後実績から設定)を乗じて想定</li> <li>・下期は、冬季最大電力(1月)に、各月の対1月比率(2017~2021年度[2020除く]の気象補正後実績から設定)を乗じて想定</li> </ul>								
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	年度想定値に各月比率(2017~2021年度の気象補正後実績により設定)を乗じて想定							
		業務用	年度想定値に各月比率(2017~2021年度[2018・2020年度を除く]の気象補正後実績により設定)を乗じて想定							
		産業用その他	年度想定値に各月比率(2017~2021年度[2018・2020年度を除く]の気象補正後実績により設定)を乗じて想定							
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上期は、夏季最大電力(8月)に、各月の対8月比率(2017~2022年度[2018・2020除く]の気象補正後実績から設定)を乗じて想定</li> <li>・下期は、冬季最大電力(1月)に、各月の対1月比率(2017~2021年度[2020除く]の気象補正後実績から設定)を乗じて想定</li> </ul>								

供給区域 東北

2023 年度

年度	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象閾補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(% (参考))
	2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	13,592	—	13,395	13,380	13,340	13,300	13,250	13,200	13,150	13,110	13,060	13,010	12,960	-0.3
最大需要電力(送電端)冬季 MW	13,720	—	13,720	13,690	13,660	13,610	13,560	13,510	13,460	13,420	13,360	13,310	13,270	-0.3
年負荷率 夏季 %	69.5	—	70.2	70.1	70.1	70.1	70.1	70.1	70.1	70.1	70.1	70.1	70.1	—
年負荷率 冬季 %	68.9	—	68.5	68.5	68.5	68.5	68.5	68.5	68.5	68.5	68.5	68.5	68.5	—
需要電力量合計(送電端) GWh	82,756	—	82,327	82,388	81,959	81,673	81,388	81,321	80,804	80,507	80,210	80,129	79,609	-0.3
送配電損失率 %	5.6	—	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	—
需要電力量合計(需要端) GWh	78,126	—	77,721	77,779	77,374	77,105	76,836	76,773	76,285	76,005	75,725	75,649	75,158	-0.3
変電所内用電力量 GWh	87	—	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	0.0
需要電力量合計(使用端) GWh	78,039	—	77,634	77,692	77,287	77,018	76,749	76,686	76,198	75,918	75,638	75,562	75,071	-0.3
家庭用その他 GWh	27,447	—	27,278	27,173	26,940	26,710	26,481	26,324	26,023	25,795	25,570	25,415	25,122	-0.8
業務用 GWh	16,015	—	15,779	15,787	15,655	15,566	15,480	15,434	15,303	15,213	15,122	15,071	14,937	-0.5
産業用その他 GWh	34,577	—	34,577	34,732	34,692	34,742	34,788	34,928	34,872	34,910	34,946	35,076	35,012	0.1
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,427	—	3,406	3,390	3,355	3,330	3,305	3,288	3,254	3,229	3,204	3,187	3,153	-0.8
口数(家庭用その他) 千口	8,009	—	8,009	8,016	8,029	8,021	8,013	8,005	7,997	7,989	7,982	7,975	7,968	-0.1
人口/口数 人/口	1.32	—	1.32	1.31	1.29	1.28	1.27	1.25	1.24	1.23	1.21	1.20	1.19	—
夏季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
冬季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備考														

供給区域 東北

2023 年度

(第1年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端) MW	10,850	10,120	10,840	13,120	13,380	11,800	10,330	11,610	13,050	13,690	13,650	12,290
	需要電力量合計(送電端) GWh	6,461	5,734	6,149	6,796	6,711	6,061	6,074	6,660	8,022	8,314	8,014	7,392
	需要電力量合計(使用端) GWh	6,576	5,747	5,654	6,079	6,364	6,003	5,632	6,017	6,838	7,939	7,609	7,234
	家庭用その他 GWh	2,584	1,944	1,569	1,765	2,020	1,851	1,646	1,981	2,473	3,388	3,124	2,828
	業務用 GWh	1,252	1,097	1,154	1,284	1,356	1,263	1,128	1,208	1,449	1,584	1,554	1,458
	産業用その他 GWh	2,740	2,706	2,931	3,030	2,988	2,889	2,858	2,828	2,916	2,967	2,931	2,948

(第2年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端) MW	10,810	10,090	10,800	13,080	13,340	11,770	10,310	11,580	13,020	13,660	13,620	12,260

供給区域 東北

2023 年度		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率の過去実績平均	補正なし	2018 ~ 2022	-	-	-	-	
		夏季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	日負荷率の過去実績平均	補正なし	2018 ~ 2021	-	-	-	-	
		冬季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数 × 原単位	-	- ~ -	-	-	-	-	
		家庭用その他(口数)	人口 / 一口当たり人口	-	- ~ -	-	人口	-	-	
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列相関	-	2008 ~ 2022	0.980	-	$Y=1.586*0.988^X - 0.012$	Y=一口当たり人口 X=時系列	観測期間から2011~2012年度を除く
		家庭用その他(原単位)	時系列相関	気温閾補正後	2013 ~ 2022	0.803	-	$Y=-25.298X+3,658.875$	Y=口数原単位 X=時系列	観測期間から2020年度を除く
		業務用	GDP・人口相関	気温閾補正後	2016 ~ 2022	0.770	GDP 人口	$Y=0.3*(X1)+8.085*(X2)+7,113.824$	Y=電力量 X1=GDP X2=人口	観測期間から2020年度を除く
		産業用その他	時系列相関	閾補正後	2013 ~ 2022	0.466	-	$Y=628.215Ln(X)+33,130.482$	Y=電力量 X=時系列	観測期間から2020年度を除く



		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率の過去実績平均	補正なし	2018 ~ 2022	-	-	-	-	
		夏季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	日負荷率の過去実績平均	補正なし	2018 ~ 2021	-	-	-	-	
		冬季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数 × 原単位	-	- ~ -	-	-	-	-	
			家庭用その他(口数)	人口 / 一口当たり人口	-	- ~ -	-	人口	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列相関	-	2008 ~ 2022	0.980	-	$Y=1.586*0.988^X$	Y=一口当たり人口 X=時系列	観測期間から2011~2012年度を除く
		家庭用その他(原単位)	時系列相関	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.803	-	$Y=-25.298X+3,658.875$	Y=口数原単位 X=時系列	観測期間から2020年度を除く
		業務用	GDP・人口相関	気温閏補正後	2016 ~ 2022	0.770	GDP 人口	$Y=0.3*(X1)+8.085*(X2)+7,113.824$	Y=電力量 X1=GDP X2=人口	観測期間から2020年度を除く
		産業用その他	時系列相関	閏補正後	2013 ~ 2022	0.466	-	$Y=628.215Ln(X)+33,130.482$	Y=電力量 X=時系列	観測期間から2020年度を除く

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	第3～9年度は長期想定式(短期式と同一)に基づき想定		
	最大需要電力(送電端)冬季	第3～9年度は長期想定式(短期式と同一)に基づき想定		
	負荷率	—		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数 × 原単位	
		家庭用その他(口数)	人口 / 一口当たり人口	
		家庭用その他(一口当たり人口)	第3～9年度は長期回帰式に基づき想定	第3～9年度は差分補正あり
		家庭用その他(原単位)	第3～9年度は長期想定回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	
業務用		第3～9年度は長期想定回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定		
産業用その他	第3～9年度は長期想定回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定			
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	過去実績にもとづき算定		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	過去実績にもとづき算定	
		業務用	過去実績にもとづき算定	
		産業用その他	過去実績にもとづき算定	
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	過去実績にもとづき算定		

供給区域 東京

2023 年度

年度	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象間補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(% (参考))
	2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	58,543	—	53,727	54,990	55,140	55,090	55,030	54,960	54,900	54,830	54,750	54,670	54,590	0.2
最大需要電力(送電端)冬季 MW		—												
年負荷率 夏季 %	55.3	—	59.1	57.7	57.7	57.7	57.7	57.7	57.7	57.7	57.7	57.7	57.7	—
年負荷率 冬季 %		—												—
需要電力量合計(送電端) GWh	283,350	—	277,971	278,808	278,852	278,609	278,281	278,723	277,624	277,262	276,882	277,239	276,063	-0.1
送配電損失率 %	4.7	—	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	—
需要電力量合計(需要端) GWh	270,153	—	265,871	266,745	266,797	266,554	266,240	266,663	265,611	265,265	264,901	265,243	264,117	-0.1
変電所内用電力量 GWh	401	—	401	402	401	401	401	402	401	401	401	402	401	0.0
需要電力量合計(使用端) GWh	269,752	—	265,470	266,343	266,396	266,153	265,839	266,261	265,210	264,864	264,500	264,841	263,716	-0.1
家庭用その他 GWh	103,503	—	100,571	100,332	99,550	98,980	98,337	97,971	97,051	96,377	95,683	95,231	94,239	-0.6
業務用 GWh	77,378	—	76,028	76,567	76,685	76,876	77,068	77,472	77,452	77,644	77,837	78,244	78,223	0.3
産業用その他 GWh	88,871	—	88,871	89,444	90,161	90,297	90,434	90,818	90,707	90,843	90,980	91,366	91,254	0.3
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,334	—	3,239	3,223	3,191	3,171	3,150	3,139	3,110	3,090	3,070	3,058	3,030	-0.7
口数(家庭用その他) 千口	31,047	—	31,047	31,132	31,197	31,214	31,218	31,215	31,206	31,190	31,167	31,138	31,102	0.0
人口/口数 人/口	1.46	—	1.46	1.46	1.45	1.45	1.45	1.44	1.44	1.43	1.43	1.42	1.42	—
夏季需要 MW		—												
ベース需要 MW		—												
冬季需要 MW		—												
ベース需要 MW		—												
備考														

## S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名) 東京電力パワーグリッド株式会社

## 供給区域

2023 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	38,460	37,170	42,810	54,990	54,990	46,500	38,270	40,200	44,690	48,840	48,840	43,370
	需要電力量合計(送電端)	GWh	20,522	20,307	21,375	24,791	25,671	22,253	21,185	21,613	25,362	26,865	24,992	23,872
	需要電力量合計(使用端)	GWh	21,073	19,341	20,216	22,541	24,283	23,198	20,511	19,974	21,967	24,900	25,048	23,291
	家庭用その他	GWh	8,109	6,648	6,389	7,540	8,739	8,392	6,949	6,962	8,543	11,245	11,087	9,729
	業務用	GWh	5,870	5,653	6,149	6,844	7,548	6,992	6,062	5,765	6,156	6,591	6,687	6,250
	産業用その他	GWh	7,094	7,040	7,678	8,157	7,996	7,814	7,500	7,247	7,268	7,064	7,274	7,312

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	38,590	37,300	42,960	55,140	55,140	46,650	38,390	40,330	44,800	48,950	48,950	43,490

供給区域 東京

2023 年度		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	「8月送電端電力量」、「最大3日日量比率」、「日負荷率」などの想定諸元から想定し、気温影響量を足し上げて算出。	~					停止中所内電力量等を控除した電力量より想定。	
		夏季需要		~						
		ベース需要		~						
		その他		~						
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率		~						
		冬季需要		~						
		ベース需要		~						
		その他		~						
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	家庭用その他(口数)に家庭用その他(原単位)を乗じて算出。	~						
		家庭用その他(口数)	人口/(人口/口数)により想定。	-	~					
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列相関 平方根	-	2013 ~ 2022	0.962		$Y=-0.038*\text{SQRT}(X)+1.592$	X:時系列	乖離差補正
		家庭用その他(原単位)	時系列相関 平方根	気温閾補正後	2013 ~ 2019	0.955		$Y=-159.635*\text{SQRT}(X)+3683.499$	X:時系列	乖離差補正
業務用		GDP・時系列(平方根)との重相関	気温閾補正後	2014 ~ 2022	0.966	GDP	$Y=0.117*(X1)-1973.978*\text{SQRT}(X2)+17988.344$	Y:電力量 X1:GDP X2:時系列	乖離差補正	
産業用その他		IIP・時系列(実数1次)との重相関 ※停止中所内電力量等を加算	閾補正後	2015 ~ 2022	0.985	IIP	$Y=481.123*(X1)-453.438*(X2)+44642.862$	Y:電力量 X1:IIP X2:時系列		

			想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	「8月送電端電力量」、「最大3日日量比率」、「日負荷率」などの想定諸元から想定し、気温影響量を足し上げて算出。		～					停止中所内電力量等を控除した電力量より想定。	
		夏季需要			～						
		ベース需要			～						
		その他			～						
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率			～						
		冬季需要			～						
		ベース需要			～						
		その他			～						
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	家庭用その他(口数)に家庭用その他(原単位)を乗じて算出。		～						
		家庭用その他(口数)	人口/(人口/口数)により想定。		～						
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列相関 平方根	-	2013 ～ 2022	0.962		$Y = -0.038 * \text{SQRT}(X) + 1.592$	X: 時系列		
		家庭用その他(原単位)	時系列相関 平方根	気温閏補正後	2013 ～ 2019	0.955		$Y = -159.635 * \text{SQRT}(X) + 3683.499$	X: 時系列	乖離差補正	
		業務用	GDP・時系列(平方根)との重相関	気温閏補正後	2014 ～ 2022	0.966	GDP	$Y = 0.117 * (X1) - 1973.978 * \text{SQRT}(X2) + 17988.344$	Y: 電力量 X1: GDP X2: 時系列	乖離差補正	
		産業用その他	IIP・時系列(対数)との重相関 ※停止中所内電力量等を加算	閏補正後	2015 ～ 2022	0.993	IIP	$Y = 514.553 * (X1) - 1501.126 * \text{LN}(X2) + 41289.202$	Y: 電力量 X1: IIP X2: 時系列		

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	2024年度と2032年度の年負荷率(気温補正後ベース)を等差・等比平均で接続し、送電端電力量(気温補正後)に乗じて算出。		
	最大需要電力(送電端)冬季			
	負荷率			
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	家庭用その他(口数)に家庭用その他(原単位)を乗じて算出。	
		家庭用その他(口数)	人口/(人口/口数)により想定。	
		家庭用その他(一口当たり人口)	2024年度と2032年度の一口当たり人口を等差・等比平均で接続。	
		家庭用その他(原単位)	2024年度と2032年度の原単位を等差・等比平均で接続。	
業務用		2024年度と2032年度の想定値を等差・等比平均で接続。		
産業用その他	2024年度と2032年度の想定値を等差・等比平均で接続し、停止中所内電力量等を加算。			
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	送電端電力量に気温補正後(過去10年ベース)月負荷率の至近5年平均値(2018年度～2022年度)を乗じて想定。 12～2月は月ごとに最大需要電力(送電端)夏季と同様の手法を使用。		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	2015年度～2019年度の月別シェア(気温閾検針日数補正後)平均により想定。	
		業務用	2012年度～2019年度の月別シェア(気温閾補正後)平均により想定。	
		産業用その他	2015年度～2019年度の月別シェア平均により想定。	
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	送電端電力量に気温補正後(過去10年ベース)月負荷率の至近5年平均値(2018年度～2022年度)を乗じて想定。 12～2月は月ごとに最大需要電力(送電端)夏季と同様の手法を使用。		

## 供給区域 中部

2023 年度

年度	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象間補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(% (参考))
	2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	25,208	—	24,364	24,550	24,700	24,610	24,520	24,430	24,340	24,240	24,140	24,050	23,950	-0.2
最大需要電力(送電端)冬季 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年負荷率 夏季 %	60.1	—	61.9	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	—
年負荷率 冬季 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
需要電力量合計(送電端) GWh	132,626	—	132,008	132,706	133,119	132,649	132,178	132,018	131,177	130,673	130,136	129,965	129,083	-0.2
送配電損失率 %	4.3	—	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	—
需要電力量合計(需要端) GWh	126,886	—	126,295	126,979	127,397	126,952	126,505	126,356	125,555	125,078	124,570	124,411	123,570	-0.2
変電所内内用電力量 GWh	150	—	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	-0.0
需要電力量合計(使用端) GWh	126,736	—	126,145	126,829	127,247	126,802	126,355	126,206	125,405	124,928	124,420	124,261	123,420	-0.2
家庭用その他 GWh	39,328	—	39,051	38,843	38,485	38,252	38,027	37,875	37,546	37,293	37,034	36,884	36,526	-0.7
業務用 GWh	22,141	—	21,827	21,872	21,804	21,793	21,771	21,793	21,704	21,681	21,632	21,644	21,542	-0.1
産業用その他 GWh	65,267	—	65,267	66,114	66,958	66,757	66,557	66,538	66,155	65,954	65,754	65,733	65,352	0.0
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,566	—	3,547	3,539	3,515	3,504	3,496	3,493	3,477	3,469	3,460	3,463	3,429	-0.3
口数(家庭用その他) 千口	11,029	—	11,011	10,977	10,948	10,918	10,876	10,842	10,797	10,750	10,702	10,652	10,652	-0.3
人口/口数 人/口	1.42	—	1.42	1.42	1.41	1.41	1.41	1.41	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	—
夏季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
冬季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備考														



## S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名) 中部電力パワーグリッド株式会社

供給区域 中部

2023 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	17,990	18,070	20,190	24,550	24,550	22,080	18,790	19,020	21,590	23,420	23,420	20,500
	需要電力量合計(送電端)	GWh	9,874	9,488	10,246	11,911	11,960	10,886	10,319	10,357	11,849	12,463	11,884	11,469
	需要電力量合計(使用端)	GWh	10,243	9,248	9,813	10,663	11,393	11,173	9,914	9,698	10,345	11,351	11,827	11,161
	家庭用その他	GWh	3,304	2,534	2,474	2,729	3,474	3,319	2,581	2,685	3,283	4,216	4,435	3,809
	業務用	GWh	1,677	1,582	1,694	1,927	2,188	2,071	1,748	1,621	1,709	1,899	1,945	1,811
	産業用その他	GWh	5,262	5,132	5,645	6,007	5,731	5,783	5,585	5,392	5,353	5,236	5,447	5,541

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	18,090	18,180	20,310	24,700	24,700	22,210	18,900	19,130	21,720	23,560	23,560	20,620

供給区域 中部

2023 年度		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考		
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	8月電力量、変電所内用電力量、送配電損失率、最大3日日負荷率などの諸元に基づき想定	-	~	-	-	-	-		
		夏季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
		冬季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×原単位にて算出	気温閏補正後	- ~ -	-	-	-	-	-	
			家庭用その他(口数)	中部人口/一口当たり人口にて算出	-	- ~ -	-	人口	-	-	
			家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向(片対数一次)	-	2009 ~ 2022	0.830	-	$Y=-0.105\log 10X+1.565$	Y=一口当たり人口 X=時系列	乖離差補正を実施
			家庭用その他(原単位)	時系列傾向(片対数一次)	気温閏補正後	2011 ~ 2022	0.952	-	$Y=-392.257\log 10X+3,955.317$	Y=原単位 X=時系列	2020,2021年度を観測期間から除外 新平年気温(1991年-2020年)を用いて気象補正した実績を用いて想定
業務用		GDP・時系列重相関	気温閏補正後	2010 ~ 2022	0.917	GDP	$Y=25.845X1-1,141.334\sqrt{X2}+11,645.081$	Y=電力量 X1=GDP X2=時系列	乖離差補正を実施 新平年気温(1991年-2020年)を用いて気象補正した実績を用いて想定		
産業用その他		IIP相関(片対数一次)	閏補正後	2017 ~ 2022	0.896	IIP	$Y=79,053.282\log 10X-91,796.290$	Y=電力量 X=IIP	乖離差補正を実施		

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	8月電力量、変電所内用電力量、送配電損失率、最大3日日負荷率などの諸元に基づき想定	-	- ~ -	-	-	-	-	
		夏季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		冬季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×原単位にて算出	気温閏補正後	- ~ -	-	-	-	-	
		家庭用その他(口数)	中部人口/一口当たり人口にて算出	-	- ~ -	-	人口	-	-	
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向(片対数一次)	-	2009 ~ 2022	0.830	-	$Y=-0.105\log 10X+1.565$	Y=一口当たり人口 X=時系列	乖離差補正を実施
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向(片対数一次)	気温閏補正後	2011 ~ 2022	0.952	-	$Y=-392.257\log 10X+3,955.317$	Y=原単位 X=時系列	2020,2021年度を観測期間から除外 新平年気温(1991年-2020年)を用いて気象補正した実績を用いて想定
		業務用	GDP・時系列重相関	気温閏補正後	2010 ~ 2022	0.917	GDP	$Y=25.845X1-1,141.334\sqrt{X2}+11,645.081$	Y=電力量 X1=GDP X2=時系列	乖離差補正を実施 新平年気温(1991年-2020年)を用いて気象補正した実績を用いて想定
産業用その他		IIP相関(片対数一次)	閏補正後	2005 ~ 2021	0.590	IIP	$Y=72,584.177\log 10X-80,904.645$	Y=電力量 X=IIP		

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	短期想定手法で想定		
	最大需要電力(送電端)冬季			
	負荷率			
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×原単位にて算出	
		家庭用その他(口数)	中部人口/一口当たり人口にて算出	
		家庭用その他(一口当たり人口)	各年度で個別想定を実施	
		家庭用その他(原単位)	各年度で個別想定を実施	
業務用		各年度で個別想定を実施		
産業用その他		長期回帰式に基づき想定	差分補正有	
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	月負荷率(上期:2018-2022年度実績平均・下期:2017-2021年度実績平均)により想定		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	年間電力量に実績月別比率(2016年度-2022年度平均、ただし2020,2021年度を除く)を乗じて想定	
		業務用	年間電力量に実績月別比率(2016年度-2022年度平均、ただし2020,2021年度を除く)を乗じて想定	
		産業用その他	年間電力量に実績月別比率(2017年度-2022年度平均、ただし2020年度を除く)を乗じて想定	
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	月負荷率(上期:2018-2022年度実績平均・下期:2017-2021年度実績平均)により想定		

供給区域 北陸

2023 年度

年度	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象間補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(% (参考))
	2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	5,081	—	4,928	4,950	4,930	4,920	4,910	4,890	4,880	4,870	4,860	4,840	4,830	-0.2
最大需要電力(送電端)冬季 MW	5,170	—	5,170	5,180	5,180	5,180	5,180	5,170	5,170	5,170	5,170	5,170	5,160	-0.0
年負荷率 夏季 %	64.7	—	65.8	65.7	65.9	66.0	66.0	66.2	66.2	66.3	66.3	66.5	66.5	—
年負荷率 冬季 %	63.5	—	62.8	62.8	62.8	62.7	62.6	62.6	62.5	62.4	62.3	62.2	62.3	—
需要電力量合計(送電端) GWh	28,776	—	28,424	28,588	28,479	28,449	28,395	28,425	28,310	28,274	28,225	28,265	28,147	-0.1
送配電損失率 %	4.2	—	3.9	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	—
需要電力量合計(需要端) GWh	27,556	—	27,322	27,359	27,254	27,226	27,174	27,203	27,093	27,058	27,011	27,050	26,937	-0.1
変電所内内用電力量 GWh	26	—	26	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	0.4
需要電力量合計(使用端) GWh	27,530	—	27,296	27,332	27,227	27,199	27,147	27,176	27,066	27,031	26,984	27,023	26,910	-0.1
家庭用その他 GWh	9,283	—	9,145	9,058	8,947	8,902	8,866	8,842	8,779	8,740	8,690	8,676	8,610	-0.6
業務用 GWh	4,987	—	4,891	4,889	4,861	4,833	4,804	4,806	4,782	4,772	4,761	4,763	4,739	-0.3
産業用その他 GWh	13,260	—	13,260	13,385	13,419	13,464	13,477	13,528	13,505	13,519	13,533	13,584	13,561	0.2
原単位(家庭用その他) kWh/口	4,199	—	4,136	4,086	4,028	3,997	3,967	3,947	3,907	3,878	3,849	3,830	3,791	-0.9
口数(家庭用その他) 千口	2,211	—	2,211	2,217	2,221	2,227	2,235	2,240	2,247	2,254	2,258	2,265	2,271	0.3
人口/口数 人/口	1.306	—	1.306	1.293	1.281	1.268	1.255	1.243	1.230	1.217	1.205	1.192	1.179	—
夏季需要 MW		—												
ベース需要 MW		—												
冬季需要 MW		—												
ベース需要 MW		—												
備考														

供給区域 北陸

2023 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	3,860	3,515	4,040	4,950	4,950	4,380	3,725	4,100	4,755	5,180	5,180	4,520
	需要電力量合計(送電端)	GWh	2,293	2,013	2,171	2,428	2,409	2,223	2,089	2,247	2,672	2,882	2,632	2,529
	需要電力量合計(使用端)	GWh	2,258	2,037	2,090	2,246	2,318	2,212	1,988	2,089	2,370	2,672	2,564	2,488
	家庭用その他	GWh	829	645	554	556	674	654	554	650	837	1,112	1,034	959
	業務用	GWh	346	347	368	457	486	399	360	366	439	465	437	419
	産業用その他	GWh	1,083	1,045	1,168	1,233	1,158	1,159	1,074	1,073	1,094	1,095	1,093	1,110

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	3,845	3,500	4,025	4,930	4,930	4,360	3,725	4,100	4,755	5,180	5,180	4,520

供給区域 北陸

2023 年度		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	送電端電力量から、8月電力量比率・最大3日日量比率・最大3日日負荷率の想定諸元に基づいて想定	気温閾補正後	~					
		夏季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	送電端電力量から、1月電力量比率・最大3日日量比率・最大3日日負荷率の想定諸元に基づいて想定	気温閾補正後	~					
		冬季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他		口数に原単位を乗じて算定される電力量から、コロナ影響量を加減算し想定		~				
			家庭用その他(口数)	人口を一口当たり人口で除して想定		~				
			家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向により想定		2013 ~ 2022	0.9961	人口	$Y=-0.013X+1.457$	Y=一口当たり人口 X=時系列
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向(コロナなかりせば)により想定	気温閾補正後	2013 ~ 2022	0.9331 0.7577		$Y=-47.73X+4,615.95$ $Y=-180.06\ln(X)+4,625.41$	Y=原単位 X=時系列	実数一次と片対数の折半
業務用		時系列傾向(コロナなかりせば)により想定した電力量からコロナ影響量を加減算し想定	気温閾補正後	2013 ~ 2022	0.7679		$Y=-28.81X+5,179.55$	Y=電力量 X=時系列	実数一次	
産業用その他		個社動向等により想定	-	~					相関式を使用せず	

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	送電端電力量から、8月電力量比率・最大3日日量比率・最大3日日負荷率の想定諸元に基づいて想定	気温閾補正後	～					
		夏季需要			～					
		ベース需要			～					
		その他			～					
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	送電端電力量から、1月電力量比率・最大3日日量比率・最大3日日負荷率の想定諸元に基づいて想定	気温閾補正後	～					
		冬季需要			～					
		ベース需要			～					
		その他			～					
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他		口数に原単位を乗じて算定される電力量から、コロナ影響量を加減算し想定		～				
			家庭用その他(口数)	人口を一口当たり人口で除して想定		～				
			家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向により想定		2013 ～ 2022	0.9961	人口	$Y=-0.013X+1.457$	Y=一口当たり人口 X=時系列
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向(コロナなかりせば)により想定	気温閾補正後	2013 ～ 2022	0.9331 0.7577		$Y=-47.73X+4,615.95$ $Y=-180.06\ln(X)+4,625.41$	Y=原単位 X=時系列	実数一次と片対数の折半
		業務用	時系列傾向(コロナなかりせば)により想定した電力量からコロナ影響量を加減算し想定	気温閾補正後	2013 ～ 2022	0.7679 0.5506		$Y=-28.81X+5,179.55$ $Y=-103.51\ln(X)+5,177.44$	Y=電力量 X=時系列	実数一次と片対数の折半
		産業用その他	IIP相関により想定	-	2016 ～ 2022	0.7995	IIP	$Y=8,465.00\ln(X)-25,328.66$	Y=電力量 X=IIP	片対数



		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	第3～9年度は長期想定方法(短期想定方法と同一)に基づき想定		
	最大需要電力(送電端)冬季	第3～9年度は長期想定方法(短期想定方法と同一)に基づき想定		
	負荷率			
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数に原単位を乗じて算定される電力量から、コロナ影響量を加減算し想定	
		家庭用その他(口数)	人口を一口当たり人口で除して想定	
		家庭用その他(一口当たり人口)	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	
		家庭用その他(原単位)	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	
業務用		第3～4年度は短期回帰式に基づき想定、第5～9年度は長期回帰式に基づき想定	第5～9年度は差分補正あり	
産業用その他	第3～4年度は個社動向等に基づき想定、第5～9年度は長期回帰式に基づき想定	第5～9年度は差分補正あり		
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	上期(4月～9月):8月送電端最大3日平均電力想定値から、過去5か年(2017.10～2022.9)の月別8月H3需要比率(気温補正後)の平均値にて月別に展開 下期(10月～3月):1月送電端最大3日平均電力想定値から、過去5か年(2017.10～2022.9)の月別1月H3需要比率(気温補正後)の平均値にて月別に展開		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	年度需要電力量から、5か年(2018～2022)の平均月別補正後電力量比率にて月別に展開	
		業務用	〃	
		産業用その他	個社動向等に基づき、月別に展開	
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	上期(4月～9月):8月送電端最大3日平均電力想定値から、過去5か年(2017.10～2022.9)の月別8月H3需要比率(気温補正後)の平均値にて月別に展開 下期(10月～3月):1月送電端最大3日平均電力想定値から、過去5か年(2017.10～2022.9)の月別1月H3需要比率(気温補正後)の平均値にて月別に展開		

供給区域 関西

2023 年度

	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象間補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(% (参考))
年度	2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	27,162	—	27,780	27,410	27,510	27,450	27,350	27,260	27,180	27,100	27,010	26,910	26,830	-0.3
最大需要電力(送電端)冬季 MW		—												
年負荷率 夏季 %	59.5	—	57.6	58.4	58.4	58.4	58.4	58.4	58.4	58.4	58.4	58.4	58.4	—
年負荷率 冬季 %		—												—
需要電力量合計(送電端) GWh	141,583	—	140,271	140,572	140,686	140,389	139,850	139,803	138,991	138,564	138,102	138,016	137,178	-0.2
送配電損失率 %	5.0	—	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.9	4.9	—
需要電力量合計(需要端) GWh	134,460	—	133,234	133,534	133,665	133,394	132,887	132,850	132,088	131,691	131,260	131,186	130,399	-0.2
変電所所内用電力量 GWh	211	—	211	211	211	211	211	211	211	211	211	211	211	0.0
需要電力量合計(使用端) GWh	134,249	—	133,023	133,323	133,454	133,183	132,676	132,639	131,877	131,480	131,049	130,975	130,188	-0.2
家庭用その他 GWh	49,515	—	48,704	48,545	48,113	47,805	47,491	47,300	46,854	46,536	46,214	46,011	45,553	-0.7
業務用 GWh	34,525	—	34,110	34,255	34,217	34,304	34,161	34,227	34,105	34,077	34,049	34,114	33,993	-0.0
産業用その他 GWh	50,209	—	50,209	50,523	51,124	51,074	51,024	51,112	50,918	50,867	50,786	50,850	50,642	0.1
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,467	—	3,410	3,395	3,361	3,339	3,317	3,305	3,275	3,255	3,236	3,226	3,199	-0.6
口数(家庭用その他) 千口	14,282	—	14,282	14,300	14,313	14,318	14,318	14,313	14,306	14,295	14,281	14,262	14,239	-0.0
人口/口数 人/口	1.42	—	1.42	1.42	1.41	1.40	1.39	1.38	1.37	1.36	1.36	1.35	1.34	—
夏季需要 MW		—												
ベース需要 MW		—												
冬季需要 MW		—												
ベース需要 MW		—												
備考														

## S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名) 関西電力送配電株式会社

供給区域 関西

2023 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	17,976	18,279	21,166	27,410	27,410	23,139	18,904	19,136	23,492	25,180	25,180	21,145
	需要電力量合計(送電端)	GWh	10,305	10,139	10,803	12,854	13,468	11,385	10,615	10,684	12,496	13,588	12,414	11,821
	需要電力量合計(使用端)	GWh	10,914	9,404	9,987	11,197	12,266	12,145	10,244	9,947	10,852	11,901	12,765	11,701
	家庭用その他	GWh	4,200	2,969	3,131	3,582	4,283	4,432	3,099	3,330	4,138	4,967	5,728	4,686
	業務用	GWh	2,602	2,406	2,626	3,064	3,482	3,338	2,821	2,544	2,640	2,923	2,974	2,835
	産業用その他	GWh	4,112	4,029	4,230	4,551	4,501	4,375	4,324	4,073	4,074	4,011	4,063	4,180

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	18,316	18,623	21,566	27,510	27,510	23,576	19,260	19,498	23,936	25,270	25,270	21,543

供給区域 関西

2023 年度		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷による想定	気温補正後	2021 ~ 2022	-	-	-	-	
		夏季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率			~					
		冬季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数と原単位より想定		~					
		家庭用その他(口数)	人口と一口あたり人口より想定		~		人口			
		家庭用その他(一口あたり人口)	時系列傾向	補正なし	2013 ~ 2022	(A)0.949 (B)0.870	-	直線(A): $Y=-0.0109X+1.54$ ルート(B): $Y=-0.045\sqrt{X+1.58}$	Y: 一口あたり人口 X: 時系列	直線とルートの折半
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.834	-	$Y=-161\sqrt{X}+3,981.08$	Y: 原単位 X: 時系列	2020年度以前の実績については新平年値にて気温補正した実績を使用。
業務用		電力量とGDP・時系列の重相関により想定	気温閏補正後	2014 ~ 2022	0.862	GDP	$Y=30.71X1-722.13\sqrt{X2}+19,317.77$	Y: 電力量 X1: GDP、X2: 時系列	2020年度以前の実績については新平年値にて気温補正した実績を使用。	
産業用その他		電力量とIIP・時系列の重相関により想定	閏補正後	2012 ~ 2022	0.951	IIP	$Y=306.61X1-2,056.84\log X2+25,165.71$	Y: 電力量 X1: IIP、X2: 時系列		

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷による想定	気温補正後	2021 ~ 2022	-	-	-	-	
		夏季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率			~					
		冬季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数と原単位より想定		~					
		家庭用その他(口数)	人口と一口あたり人口より想定		~		人口			
		家庭用その他(一口あたり人口)	時系列傾向	補正なし	2013 ~ 2022	(A)0.949 (B)0.870	-	直線(A): $Y=-0.0109X+1.54$ ルート(B): $Y=-0.045\sqrt{X}+1.58$	Y: 一口あたり人口 X: 時系列	直線とルートの折半
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.834	-	$Y=-161\sqrt{X}+3,981.08$	Y: 原単位 X: 時系列	2020年度以前の実績については新平年値にて気温補正した実績を使用。
		業務用	電力量とGDP・時系列の重相関により想定	気温閏補正後	2012 ~ 2022	0.881	GDP	$Y=28.83X1-873.12\sqrt{X2}+21,053.09$	Y: 電力量 X1: GDP、X2: 時系列	2020年度以前の実績については新平年値にて気温補正した実績を使用。
		産業用その他	電力量とIIP・時系列の重相関により想定	閏補正後	2012 ~ 2022	0.951	IIP	$Y=306.61X1-2,056.84\log X2+25,165.71$	Y: 電力量 X1: IIP、X2: 時系列	

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	長期・短期同様、日負荷率による想定		
	最大需要電力(送電端)冬季			
	負荷率			
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数と原単位より想定	
		家庭用その他(口数)	人口を一口あたり人口で除して想定	
		家庭用その他(一口当たり人口)	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	
		家庭用その他(原単位)	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	
業務用		第3～9年度は長期回帰式に基づき想定	・第3～9年度は差分補正有(等差) ・第3年度(2025年度)は万博需要を個別に加算	
産業用その他	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定			
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	月負荷率(2017～2021年度実績平均)により想定		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	2017～2021年度の月別構成比により想定	
		業務用	2017～2021年度の月別構成比により想定	
		産業用その他	2017～2021年度の月別構成比により想定	
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	月負荷率(2017～2021年度実績平均)により想定		

## 供給区域

2023 年度

	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象閾補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(% (参考))
年度	2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	10,502	—	10,638	10,430	10,430	10,418	10,405	10,393	10,380	10,368	10,355	10,343	10,330	-0.3
最大需要電力(送電端)冬季 MW	10,400	—	10,400	10,370	10,370	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年負荷率 夏季 %	65.3	—	63.7	65.4	65.4	65.5	65.5	65.5	65.5	65.5	65.5	65.5	65.5	—
年負荷率 冬季 %	65.9	—	65.2	65.8	65.8									—
需要電力量合計(送電端) GWh	60,042	—	59,358	59,922	59,799	59,736	59,674	59,774	59,549	59,486	59,423	59,524	59,298	-0.0
送配電損失率 %	5.3	—	5.1	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	—
需要電力量合計(需要端) GWh	56,884	—	56,306	56,770	56,655	56,596	56,536	56,631	56,418	56,357	56,299	56,392	56,179	-0.0
変電所内用電力量 GWh	54	—	54	54	55	55	55	55	55	55	55	55	55	0.2
需要電力量合計(使用端) GWh	56,830	—	56,252	56,716	56,600	56,541	56,481	56,576	56,363	56,302	56,244	56,337	56,124	-0.0
家庭用その他 GWh	19,930	—	19,713	19,726	19,625	19,541	19,458	19,427	19,290	19,206	19,123	19,091	18,955	-0.4
業務用 GWh	10,773	—	10,412	10,755	10,707	10,692	10,676	10,690	10,646	10,630	10,615	10,628	10,584	0.2
産業用その他 GWh	26,126	—	26,126	26,235	26,268	26,308	26,347	26,459	26,427	26,466	26,506	26,618	26,585	0.2
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,730	—	3,690	3,689	3,670	3,666	3,662	3,665	3,653	3,650	3,648	3,653	3,643	-0.1
口数(家庭用その他) 千口	5,343	—	5,343	5,347	5,348	5,331	5,314	5,301	5,281	5,262	5,242	5,226	5,203	-0.3
人口/口数 人/口	1.34	—	1.34	1.33	1.32	1.32	1.31	1.31	1.30	1.30	1.29	1.29	1.29	—
夏季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
冬季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備考														

## S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名) 中国電力ネットワーク株式会社

供給区域

2023 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	7,570	7,470	8,350	10,430	10,430	9,310	7,700	8,360	10,130	10,370	10,370	9,020
	需要電力量合計(送電端)	GWh	4,416	4,397	4,547	5,227	5,387	4,699	4,527	4,764	5,589	5,755	5,461	5,153
	需要電力量合計(使用端)	GWh	4,628	4,140	4,187	4,626	5,014	4,841	4,330	4,322	4,770	5,446	5,310	5,102
	家庭用その他	GWh	1,731	1,316	1,189	1,356	1,639	1,595	1,281	1,378	1,724	2,342	2,181	1,994
	業務用	GWh	826	745	841	940	1,070	1,011	829	784	859	973	968	909
	産業用その他	GWh	2,071	2,079	2,157	2,330	2,305	2,235	2,220	2,160	2,187	2,131	2,161	2,199

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	7,570	7,470	8,350	10,430	10,430	9,310	7,700	8,360	10,130	10,370	10,370	9,020



供給区域

2023 年度			想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2016 ~ 2022	-	-	-	-	・至近6年平均 ※2020年度はコロナ影響により例年との乖離が発生している可能性があるため除く	
		夏季需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-	
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2017 ~ 2019	-	-	-	-	-	・至近3年平均 ※2020年度、2021年度はコロナ影響により例年との乖離が発生している可能性があるため除く
		冬季需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	「口数×原単位」法		気温閏補正後	~	-	-	-	-	・コロナ影響および平成30年7月豪雨影響なかりせば電力量から想定
			家庭用その他(口数)	人口/一口当たり人口	-	~	-	人口	-	-	-
			家庭用その他(一口当たり人口)	時系列	-	2013 ~ 2022	0.997	-	$Y = -0.010 X + 1.436$	X:時系列	-
			家庭用その他(原単位)	時系列	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.891	-	$Y = -108.393 \ln X + 3,967.79$	X:時系列	・コロナ影響および平成30年7月豪雨影響なかりせば電力量から想定
		業務用	時系列	気温閏補正後	2010 ~ 2022	0.897	-	$Y = -285,975 \ln X + 11,618,041$	X:時系列	・コロナ影響および平成30年7月豪雨影響なかりせば原単位から想定	
		産業用その他	・産業用特高(一部):個別需要者想定 ・上記個別需要者想定以外:IIP単相関	補正なし	2015 ~ 2022	0.893	IIP	$Y = 13,886 \ln X - 42,357$	X:IIP		

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考		
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2016 ~ 2022	-	-	-	-	・至近6年平均 ※2020年度はコロナ影響により例年との乖離が発生している可能性があるため除く	
		夏季需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-	
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	~	-	-	-	-	-	
		冬季需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	「口数×原単位」法	気温閏補正後	~	-	-	-	-	-	・コロナ影響および平成30年7月豪雨影響なかりせば電力量から想定
		家庭用その他(口数)	人口/一口当たり人口	-	~	-	人口	-	-	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列	-	2013 ~ 2022	0.997 0.899	-	$Y = -0.010 X + 1.436$ $Y = -0.038 \ln X + 1.440$	X:時系列	・一次式と対数式の折半	
		家庭用その他(原単位)	時系列	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.891	-	$Y = -108.393 \ln X + 3,967.79$	X:時系列	・コロナ影響および平成30年7月豪雨影響なかりせば原単位から想定	
		業務用	時系列	気温閏補正後	2010 ~ 2022	0.897	-	$Y = -285,975 \ln X + 11,618,041$	X:時系列	・コロナ影響および平成30年7月豪雨影響なかりせば電力量から想定	
産業用その他		IIP単相関	補正なし	2007 ~ 2022	0.675	IIP	$Y = 16,621 \ln X - 49,013$	X:IIP	・個別需要者動向により補正 ・平成30年7月豪雨影響なかりせば電力量から想定		

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端) 夏季	2024年度と2032年度の想定結果を踏まえ算定	-	
	最大需要電力(送電端) 冬季	-	-	
	負荷率	2024年度と2032年度の想定結果を踏まえ算定	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	第3～9年度は長期回帰式に基づき想定	第3～9年度は差分補正有
		家庭用その他(口数)	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	-	-
		家庭用その他(原単位)	-	-
業務用		第3～9年度は長期回帰式に基づき想定	第3～9年度は差分補正有	
産業用その他	第3～9年度は長期回帰式に基づき想定	第3～9年度は差分補正有		
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	8月(または1月)最大電力想定値と至近3か年平均の夏季(または冬季)比率(夏季(または冬季)最大電力に対する月別最大電力比率)から算出	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	過去実績をもとに月別変動係数を算定し、年度の電力量に乗じて月別電力量を算出	-
		業務用	過去実績をもとに月別変動係数を算定し、年度の電力量に乗じて月別電力量を算出	-
		産業用その他	過去実績をもとに月別変動係数を算定し、年度の電力量に乗じて月別電力量を算出	-
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	8月(または1月)最大電力想定値と至近3か年平均の夏季(または冬季)比率(夏季(または冬季)最大電力に対する月別最大電力比率)から算出	-	

供給区域

2023 年度

年度	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象閾補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(% (参考))
	2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	5,111	—	5,108	4,970	4,950	4,930	4,900	4,870	4,850	4,820	4,800	4,770	4,740	-0.7
最大需要電力(送電端)冬季 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年負荷率 夏季 %	60.1	—	59.2	60.4	60.4	60.4	60.4	60.5	60.4	60.4	60.4	60.4	60.4	—
年負荷率 冬季 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
需要電力量合計(送電端) GWh	26,896	—	26,488	26,358	26,211	26,072	25,932	25,862	25,653	25,518	25,376	25,304	25,097	-0.5
送配電損失率 %	5.0	—	4.7	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	—
需要電力量合計(需要端) GWh	25,545	—	25,232	24,987	24,848	24,716	24,584	24,517	24,319	24,191	24,056	23,989	23,792	-0.6
変電所内用電力量 GWh	32	—	32	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	0.3
需要電力量合計(使用端) GWh	25,513	—	25,200	24,954	24,815	24,683	24,551	24,484	24,286	24,158	24,023	23,956	23,759	-0.6
家庭用その他 GWh	10,362	—	10,202	10,064	9,922	9,814	9,707	9,625	9,492	9,384	9,277	9,194	9,062	-1.2
業務用 GWh	5,734	—	5,581	5,701	5,684	5,684	5,682	5,694	5,675	5,675	5,669	5,681	5,661	0.1
産業用その他 GWh	9,417	—	9,417	9,189	9,209	9,185	9,162	9,165	9,119	9,099	9,077	9,081	9,036	-0.4
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,593	—	3,537	3,491	3,445	3,409	3,372	3,344	3,298	3,262	3,225	3,197	3,151	-1.1
口数(家庭用その他) 千口	2,884	—	2,884	2,883	2,880	2,879	2,879	2,878	2,878	2,877	2,877	2,876	2,875	-0.0
人口/口数 人/口	1.26	—	1.26	1.24	1.23	1.22	1.21	1.20	1.19	1.18	1.16	1.15	1.14	—
夏季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
冬季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備考														

## S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名) 四国電力送配電(株)

供給区域

2023 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	3,340	3,420	3,860	4,970	4,970	4,250	3,690	3,700	4,580	4,580	4,580	3,950
	需要電力量合計(送電端)	GWh	1,956	1,924	2,019	2,371	2,435	2,102	2,006	2,037	2,381	2,529	2,355	2,243
	需要電力量合計(使用端)	GWh	1,952	1,839	1,888	2,137	2,289	2,076	1,911	1,843	2,060	2,443	2,241	2,275
	家庭用その他	GWh	802	704	611	725	913	817	676	690	833	1,192	1,046	1,055
	業務用	GWh	389	405	461	570	582	485	429	413	495	524	486	462
	産業用その他	GWh	761	730	816	842	794	774	806	740	732	727	709	758

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	3,330	3,420	3,850	4,950	4,950	4,240	3,680	3,690	4,560	4,560	4,560	3,940

供給区域

2023 年度		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	至近実績(気温補正後)の平均値	気温閏補正後	2018 ~ 2022	-	-	-	-	2019,2020,2021年度を除外
		夏季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	変電所所内:至近実績の平均値 送配電損失率:至近実績(気温補正前)の平均値	補正なし	2017 ~ 2021 2019 ~ 2021	-	-	-	-	-
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	~	-	-	-	-	-
		冬季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	-	-	~	-	-	-	-	-
		家庭用その他(口数)	-	-	~	-	-	-	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向	補正なし	2013 ~ 2022	0.998	人口	$y = -0.01x + 1.4$	y=一口当たり人口 x=時系列	-
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向	気温閏補正後	2011 ~ 2022	0.854	-	$y = -36.7x + 3,959.4$	y=原単位 x=時系列	-
		業務用	経済指標と時系列の重相関	気温閏補正後	2010 ~ 2022	0.967	GDP	$y = -394.8\ln(x1) + 2,720.7\ln(x2) - 10,448.8$	y=電力量 x1=時系列 x2=GDP	-
		産業用その他	経済指標と時系列の重相関	閏補正後	2010 ~ 2022	0.895	IIP	$y = -506.8\ln(x1) + 2,730.8\ln(x2) - 2,045.1$	y=電力量 x1=時系列 x2=IIP	-

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	至近実績(気温補正後)の平均値	気温閏補正後	2018 ~ 2022	-	-	-	-	2019,2020,2021年度を除外
		夏季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	変電所所内:至近実績の平均値 送配電損失率:至近実績(気温補正前)の平均値	補正なし	2017 ~ 2021 2019 ~ 2021	-	-	-	-	-
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	~	-	-	-	-	-
		冬季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	-	-	~	-	-	-	-	-
		家庭用その他(口数)	-	-	~	-	-	-	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向	補正なし	2013 ~ 2022	0.998	人口	$y = -0.01x + 1.4$	y=一口当たり人口 x=時系列	-
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向	気温閏補正後	2011 ~ 2022	0.854	-	$y = -36.7x + 3,959.4$	y=原単位 x=時系列	-
		業務用	経済指標と時系列の重相関	気温閏補正後	2010 ~ 2022	0.967	GDP	$y = -394.8\ln(x1) + 2,720.7\ln(x2) - 10,448.8$	y=電力量 x1=時系列 x2=GDP	-
		産業用その他	経済指標と時系列の重相関	閏補正後	2010 ~ 2022	0.895	IIP	$y = -506.8\ln(x1) + 2,730.8\ln(x2) - 2,045.1$	y=電力量 x1=時系列 x2=IIP	-

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	短期と同様の手法で想定		
	最大需要電力(送電端)冬季	-		
	負荷率	短期と同様の手法で想定		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	各年度個別想定(短期・長期同一の推計式)	
		家庭用その他(口数)	-	
		家庭用その他(一口当たり人口)	-	
		家庭用その他(原単位)	-	
業務用		各年度個別想定(短期・長期同一の推計式)		
産業用その他	各年度個別想定(短期・長期同一の推計式)			
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	$\frac{((\text{供給区域需要(気温補正後)} + \text{変電所内}) \div (1 - \text{送配電損失率})) \times \text{月配分率} \div \text{日数} \times \text{H3平均日量比率} \div \text{日負荷率}}$		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	過去の実績傾向を基に配分	
		業務用	過去の実績傾向を基に配分	
		産業用その他	過去の実績傾向を基に配分	
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	第1年度と同様に、気温補正後の供給区域需要から負荷率等を用いて想定		



供給区域

2023 年度

年度	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象閾補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(% (参考))
	2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	15,634	—	15,497	15,370	15,410	15,380	15,350	15,310	15,270	15,230	15,180	15,130	15,080	-0.3
最大需要電力(送電端)冬季 MW	—	—	14,640	14,540	14,580	14,550	14,520	14,480	14,450	14,410	14,360	14,310	14,270	-0.3
年負荷率 夏季 %	63.3	—	63.0	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	—
年負荷率 冬季 %	—	—	66.6	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	—
需要電力量合計(送電端) GWh	86,735	—	85,474	85,551	85,534	85,378	85,196	85,213	84,762	84,537	84,259	84,205	83,692	-0.2
送配電損失率 %	4.9	—	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	—
需要電力量合計(需要端) GWh	82,519	—	81,318	81,326	81,311	81,162	80,989	81,005	80,577	80,362	80,099	80,047	79,559	-0.2
変電所内用電力量 GWh	92	—	92	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	-0.2
需要電力量合計(使用端) GWh	82,427	—	81,226	81,236	81,221	81,072	80,899	80,915	80,487	80,272	80,009	79,957	79,469	-0.2
家庭用その他 GWh	33,031	—	32,176	32,118	31,888	31,752	31,619	31,574	31,357	31,219	31,087	31,035	30,816	-0.4
業務用 GWh	19,018	—	18,673	18,686	18,593	18,537	18,458	18,400	18,244	18,140	17,996	17,898	17,701	-0.5
産業用その他 GWh	30,377	—	30,377	30,432	30,740	30,783	30,822	30,940	30,886	30,914	30,926	31,024	30,952	0.2
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,525	—	3,434	3,425	3,398	3,382	3,367	3,362	3,340	3,327	3,315	3,313	3,293	-0.4
口数(家庭用その他) 千口	9,371	—	9,371	9,378	9,383	9,387	9,390	9,390	9,388	9,382	9,377	9,368	9,359	-0.0
人口/口数 人/口	1.35	—	1.35	1.34	1.33	1.32	1.31	1.30	1.30	1.29	1.28	1.27	1.26	—
夏季需要 MW		—												
ベース需要 MW		—												
冬季需要 MW		—												
ベース需要 MW		—												
備考														

## 供給区域

2023 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	10,000	10,480	12,030	15,370	15,370	13,200	11,090	11,520	13,930	14,540	14,540	12,230
	需要電力量合計(送電端)	GWh	6,259	6,219	6,646	7,859	8,020	6,966	6,471	6,623	7,814	8,161	7,479	7,034
	需要電力量合計(使用端)	GWh	6,400	5,875	6,140	6,839	7,698	7,298	6,417	6,151	6,593	7,411	7,496	6,918
	家庭用その他	GWh	2,591	2,126	2,149	2,451	3,048	2,790	2,207	2,248	2,715	3,392	3,467	2,934
	業務用	GWh	1,398	1,307	1,420	1,641	1,926	1,870	1,592	1,399	1,397	1,580	1,639	1,517
	産業用その他	GWh	2,411	2,442	2,571	2,747	2,724	2,638	2,618	2,504	2,481	2,439	2,390	2,467

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	10,020	10,510	12,060	15,410	15,410	13,230	11,120	11,550	13,970	14,580	14,580	12,260

供給区域

2023 年度		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2017 ~ 2021	-	-	過去5年平均	-	-
		夏季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2017 ~ 2021	-	-	過去5年平均	-	-
		冬季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数 × 原単位	-	- ~ -	-	-	-	-	-
		家庭用その他(口数)	供給区域内人口 / 一口あたり人口	-	- ~ -	-	-	-	-	-
		家庭用その他(一口あたり人口)	時系列相関	-	2013 ~ 2022	①0.996 ②0.928	人口	① $Y = -0.013X + 1.478$ ② $Y = -0.053 \log X + 1.485$	Y: 一口あたり人口 X: 時系列	一口あたり人口は①実数一次と②片対数一次の 想定結果を折半
		家庭用その他(原単位)	時系列相関	気温閏補正後	2010 ~ 2022	0.975	-	$Y = -246.906X + 4109.224$	Y: 原単位 X: 時系列	コロナ影響なかりせば原単位から想定
		業務用	GDP × 原単位(電力量/GDP) ※原単位は時系列相関	気温補正後	2010 ~ 2022	0.82	GDP	$Y = -0.407X + 38.754$	Y: 原単位 X: 時系列	-
		産業用その他	IIP相関	補正なし	2017 ~ 2021	0.941	IIP	$Y = 13293.317 \log X - 31147.362$	Y: 電力量 X: IIP	乖離差補正あり

			想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2017 ~ 2021	-	-	過去5年平均	-	-	
		夏季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-	
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2017 ~ 2021	-	-	過去5年平均	-	-	
		冬季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×原単位	-	- ~ -	-	-	-	-	-	-
		家庭用その他(口数)	供給区域内人口/一口あたり人口	-	- ~ -	-	-	-	-	-	-
		家庭用その他(一口あたり人口)	時系列相関	-	2013 ~ 2022	①0.996 ②0.928	人口	① $Y=-0.013X+1.478$ ② $Y=-0.053\log X+1.485$	Y:一口あたり人口 X:時系列	一口あたり人口は①実数一次と②片対数一次の 想定結果を折半	
		家庭用その他(原単位)	時系列相関	気温補正後	2010 ~ 2022	0.975	-	$Y=-246.906X+4109.224$	Y:原単位 X:時系列	コロナ影響なかりせば原単位から想定	
		業務用	GDP×原単位(電力量/GDP) ※原単位は時系列相関	気温補正後	2010 ~ 2022	0.82	GDP	$Y=-0.407X+38.754$	Y:原単位 X:時系列	-	
		産業用その他	IIP相関	補正なし	2017 ~ 2021	0.941	IIP	$Y=13293.317\log X$ $-31147.362$	Y:電力量 X:IIP	乖離差補正あり	

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	各年度の想定電力量及び日負荷率等の想定諸元から算定	-	
	最大需要電力(送電端)冬季	-	-	
	負荷率	短期及び長期と同一	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	各年度の口数×原単位で想定	-
		家庭用その他(口数)	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	-
		家庭用その他(原単位)	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	-
業務用		第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	-	
産業用その他	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	-		
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	過去の実績傾向を勘案し算定した各月の比率をもとに、2023年度の月別最大需要電力を想定(4月～10月:8月比率、11月～3月:1月比率)。	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	過去の実績傾向を勘案し算定した各月の比率をもとに、2023年度の電力量を按分し、想定。	-
		業務用	過去の実績傾向を勘案し算定した各月の比率をもとに、2023年度の電力量を按分し、想定。	-
		産業用その他	過去の実績傾向を勘案し算定した各月の比率をもとに、2023年度の電力量を按分し、想定。	-
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	過去の実績傾向を勘案し算定した各月の比率をもとに、2024年度の月別最大需要電力を想定(4月～10月:8月比率、11月～3月:1月比率)。	-	

供給区域 沖縄

2023 年度

年度		推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象閾補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(%) (参考)	
		2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季	MW	1,673	—	1,638	1,611	1,620	1,629	1,639	1,649	1,658	1,668	1,678	1,689	1,699	0.4
最大需要電力(送電端)冬季	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年負荷率 夏季	%	56.4	—	56.7	57.7	57.8	57.8	57.7	57.7	57.8	57.8	57.8	57.8	57.8	—
年負荷率 冬季	%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
需要電力量合計(送電端)	GWh	8,265	—	8,139	8,171	8,197	8,242	8,290	8,363	8,390	8,440	8,492	8,568	8,597	0.5
送配電損失率	%	4.2	—	4.6	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	—
需要電力量合計(需要端)	GWh	7,918	—	7,768	7,828	7,852	7,896	7,942	8,012	8,037	8,085	8,135	8,209	8,236	0.6
変電所所内消費電力量	GWh	5	—	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	0.0
需要電力量合計(使用端)	GWh	7,913	—	7,763	7,823	7,848	7,891	7,937	8,007	8,032	8,080	8,130	8,204	8,231	0.6
家庭用その他	GWh	3,645	—	3,528	3,568	3,586	3,615	3,643	3,683	3,701	3,731	3,762	3,805	3,826	0.8
業務用	GWh	2,922	—	2,889	2,909	2,913	2,926	2,938	2,958	2,962	2,974	2,987	3,007	3,011	0.4
産業用その他	GWh	1,346	—	1,346	1,345	1,348	1,350	1,356	1,367	1,369	1,375	1,382	1,392	1,394	0.4
原単位(家庭用その他)	kWh/口	3,697	—	3,578	3,572	3,543	3,530	3,516	3,511	3,488	3,477	3,464	3,465	3,444	-0.4
口数(家庭用その他)	千口	986	—	986	999	1,012	1,024	1,036	1,049	1,061	1,073	1,086	1,098	1,111	1.2
人口/口数	人/口	1.49	—	1.49	1.48	1.46	1.45	1.43	1.42	1.40	1.38	1.37	1.35	1.34	—
夏季需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
冬季需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備考															

供給区域 沖縄

2023 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	1,070	1,303	1,556	1,582	1,611	1,598	1,381	1,179	1,005	1,086	1,031	979
	需要電力量合計(送電端)	GWh	568	640	769	898	877	797	698	592	598	603	553	578
	需要電力量合計(使用端)	GWh	559	570	664	763	855	822	718	629	565	605	537	537
	家庭用その他	GWh	249	247	297	355	408	395	322	267	244	297	243	243
	業務用	GWh	205	215	250	287	321	304	279	249	212	203	194	193
	産業用その他	GWh	105	108	117	121	126	123	117	113	109	105	100	101

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	1,076	1,311	1,565	1,591	1,620	1,607	1,388	1,186	1,011	1,092	1,037	985

供給区域 沖縄

2023 年度		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考		
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率直近実績	気温補正後	2022 ~ 2022	-	-	-	-		
		夏季需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-	
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	~	-	-	-	-	-	
		冬季需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×原単位	-	-	~	-	-	-	-	-
			家庭用その他(口数)	人口と人口/口数により算出	-	~	-	人口	-	-	-
			家庭用その他(一口当たり人口)	時系列相関 実数1次	-	2009 ~ 2022	0.986	-	$Y = -0.016X + 1.714$	-	-
			家庭用その他(原単位)	時系列相関 片対数	気温閏補正後	2010 ~ 2022	0.931	-	$Y = -236.684\log X + 4186.119$	-	2020年度実績と2021年度実績はコロナ影響補正後
		業務用	時系列相関 実数1次	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.672	-	$Y = 12.194X + 2753.464$	-	2020年度実績と2021年度実績はコロナ影響補正後	
		産業用その他	時系列相関 実数1次	閏補正後	2015 ~ 2022	0.940	-	$Y = 6.298X + 1106.388$	-	2020年度実績と2021年度実績は観測期間から除外 一部お客さまについては、別途想定し積上げ	



		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率直近実績	気温補正後	2022 ~ 2022	-	-	-	-	-
		夏季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	~	-	-	-	-	-
		冬季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×原単位	-	~	-	-	-	-	-
		家庭用その他(口数)	人口と人口/口数により算出	-	~	-	人口	-	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列相関 実数1次	-	2009 ~ 2022	0.986	-	$Y = -0.016X + 1.714$	-	-
		家庭用その他(原単位)	時系列相関 片対数	気温閏補正後	2010 ~ 2022	0.931	-	$Y = -236.684\log X + 4186.119$	-	2020年度実績と2021年度実績はコロナ影響補正後
		業務用	時系列相関 実数1次	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.672	-	$Y = 12.194X + 2753.464$	-	2020年度実績と2021年度実績はコロナ影響補正後
		産業用その他	時系列相関 実数1次	閏補正後	2015 ~ 2022	0.940	-	$Y = 6.298X + 1106.388$	-	2020年度実績と2021年度実績は観測期間から除外 一部お客さまについては、別途想定し積上げ

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端) 夏季	短期・長期と同様に日負荷率により算出	-	
	最大需要電力(送電端) 冬季	-	-	
	負荷率	日負荷率直近実績	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	-
		家庭用その他(口数)	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	-	-
		家庭用その他(原単位)	-	-
業務用	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	-		
産業用その他	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	-		
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	各月の実績比率の過去3年平均により算出。	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	各月の実績比率の過去5年平均により算出。	-
		業務用	各月の実績比率の過去5年平均により算出。	コロナ影響を強く受けた2020年度は除外
		産業用その他	各月の実績比率の過去5年平均により算出。	-
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	各月の実績比率の過去3年平均により算出。	-	